

行政事業レビューシート (厚生労働省)						
予算事業名	女性と仕事総合支援事業		事業開始年度	平成11年度(平成12年1月)		
担当部局	雇用均等・児童家庭局		担当課室	雇用均等政策課 吉本 明子		
会計区分	労働保険特別会計労災勘定／雇用勘定		上位政策	-		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 雇用保険法第62条第1項第5号		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	人口減少社会を迎える中、引き続き活力ある社会であり続けるためには、女性がその意欲と能力を十分に発揮して働くことができるような環境整備を図ることが重要である。このため、働く上で男性に比べて困難な状況に直面することが少ない女性が、健康でかつ、その能力を十分に発揮できるようにするための各種事業を実施し、働く女性、働きたい女性を支援することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	働く女性、働きたい女性を対象に就労継続、キャリアアップ、起業、女性特有の健康問題やメンタルヘルスに関するセミナー及びこれら様々な問題に相談を行っている。また、これらの事業で蓄積した様々なノウハウを全国の女性関連施設に広く普及するための講座を設け当該職員を対象に研修を行っている。さらに、明治以降の働く女性の苦難の歴史を継承する場としての展示や女性労働に関する専門図書館、判例、統計等女性労働に関する総合的情報発信を行っている。					
実施状況	【事業の実施状況】	単位	H19年度	H20年度	H21年度	
	来館者数	人	158,301	178,272	197,121	
	セミナー受講者数	人	4,416	4,393	5,088	
	相談者数	人	5,150	5,184	5,381	
	ホームページアクセス数	件	1,689,921	1,919,018	1,821,237	
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	352	338	301	245	0
	執行額	338	320	285		
	執行率	95.9%	94.5%	94.7%		
	総事業費(執行ベース)	339	323	291		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業目的の実現や効果の観点から、平成21年度においては以下の目標設定を行っており、いずれも達成しているところである。 ・能力発揮セミナー受講者のうち、受講により継続就業に向けた今後のキャリアパスの方針を立てた又は立てつつあるとする者の割合 目標90%以上 実績94.1% ・健康に関する相談を受けたことによって、健康問題に関する具体的な対処方法を見出すことができた又は健康問題が具体的に解決されたとする者の割合 目標95%以上 実績98.7%				
	見直しの余地	当事業の予算については、平成22年度予算(245百万円)において、平成12年度(652百万円)から62.5%の削減、また、対前年度(301百万円)比でも18.6%の削減を図っており、これまでも効率的な事業運営に努めてきたところである。 その一方で、利用者のニーズにマッチした事業をタイムリーに企画運営することにより、女性と仕事の未来館の利用者数は増加しており、利用者一人当たりのコストも年々削減してきている。				
予算監視の所見率化	<p>廃止</p> <p>女性と仕事総合支援事業については、執行実態から事業目的が十分に達成されているとは言い難く、廃止を検討すること。</p>					
補記	<p>【事業の沿革】</p> <p>平成6年10月 「女性の歴史と未来館」設置推進議員連盟(超党派)発足 平成6年12月 連合から総理大臣宛て、労働大臣宛てに「女性の歴史と未来館(仮称)」の実現を図るよう要請 平成7年 8月 有識者による「女性の歴史と未来館(仮称)基本構想・基本計画検討委員会」(座長:樋口恵子氏)により検討開始 → 同年10月 報告書とりまとめ 平成12年1月 開館</p> <p>【最近の関係提言等】</p> <p>「第3次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方について(答申)」(平成22年7月23日 男女共同参画会議(議長:仙谷由人内閣官房長官))において、女性と仕事の未来館において、その機能、事業目的・手法を見直した上で、全国どこでも学習プログラムや相談が利用できるよう、発信型の事業を展開することとされている。</p>					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

厚生労働省

女性と仕事総合支援事業の受託者を公募により募集。
精算後の委託費は、291百万円(事業費及び管理費)
から利用者収入20百万円を引いたものに、消費税を掛
けた額。(285百万円)

受託者に事業費(事業費及び管理費)
を支出 291百万円

【公募(企画競争)・委託】

A (財) 女性労働協会

女性と仕事総合支援事業を受託、実施

女性と仕事の未来館利用者から利
用料を徴収 20百万円

利用者

セミナー受講料や会議室利用料を支払

費目・使途
(「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出さ
れている者につ
いて記載する。
使途と費目の
双方で実情が
分かるように
記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	受託者の人件費、社会保険料	114			
一般管理費	施設管理保守等	105			
庁費	印刷製本費、通信運搬費、ライブラリ運営等	56			
諸謝金	セミナー等に係る講師等への謝金	15			
旅費	セミナー等に係る旅費	1			
計		291	計		0
C.			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0